

平成21年7月17日

各 位

会 社 名 ユニコムグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 二 家 英 彰
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4)
問合せ先 取締役管理部長 西 山 義 信
TEL 0 3 - 5 6 2 3 - 5 0 2 7

連結子会社における証券コールセンター部門の吸収分割方針の撤回について

当社は、株式会社ISホールディングス（以下「ISH社」という。）との間で平成21年5月18日に締結した株式譲渡契約書において、当社連結子会社である日産センチュリー証券株式会社（以下「NC証券」という。）を承継会社としてアイディーオー証券株式会社（以下「IDO証券」という。）の証券コールセンター部門を承継させる吸収分割を後日行うことを取決め、その旨を平成21年5月18日に開示しておりましたが、本日、当該方針を撤回することにつきISH社と合意いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．撤回の理由

証券コールセンター部門の吸収分割につきましては、平成21年5月18日付プレスリリース「連結子会社の異動（譲渡）並びに株式譲渡契約書締結に関するお知らせ」でお伝えしました子会社2社（IDO証券及びエフ・エックス・プラットフォーム株式会社）の普通株式の譲渡に伴い、譲渡先であるISH社との間で取り交わした合意内容に基づき実施する予定でございました。

しかしながら、本件吸収分割についてISH社及びIDO証券と協議を継続している中で、同部門の吸収分割対価は非常に低いものとの試算がなされ、同部門の吸収分割に伴う顧客口座移管等の事務手続やコストなどを勘案すると、当該吸収分割を行う意義はないものとの認識で一致し、本日、ISH社と当該吸収分割は行わない旨の合意に達したものでございます。

なお、本件撤回にかかわらず、平成21年6月17日付プレスリリース「連結子会社における吸収分割について」でお伝えいたしましたIDO証券の商品先物取引部門及びエフ・エックス・プラットフォーム株式会社の商品先物システム部門の当社連結子会社である日本ユニコム株式会社への承継に係る吸収分割につきましては、平成21年8月3日を分割期日に予定どおり実施いたします。

2．業績に与える影響

すでにお知らせしておりますとおり、本件吸収分割の対価に相当する額につきましては、本件株式譲渡対価の一部となる予定でしたが、本件吸収分割を撤回した事に伴いまして、本件株式の譲渡対価には含まれない事となります。

なお、現在のところ予定している本件株式譲渡対価につきましては以下のとおりです。

1. アイディーオー証券株式会社の株式譲渡対価

21 億円 + 1 億 3 千万円 (同社と日本ユニコム株式会社との商品先物取引部門の吸収分割対価に相当する額) + 7 千 5 百万円 (同社と日産センチュリー証券株式会社との証券ディーリングシステムの売買対価に相当する額)
= 23 億 5 百万円

2. エフ・エックス・プラットフォーム株式会社の株式譲渡対価

2 億円 + 1 億 5 千万円 (同社と日本ユニコム株式会社との商品先物システムの吸収分割対価に相当する額)
= 3 億 5 千万円

上記金額につきましては、現在の予定であり、上述の平成 21 年 8 月 3 日予定の吸収分割に係る対価が後日調整された場合は、それに伴いまして本件株式譲渡対価も変更となる可能性がございます。

本件株式譲渡に伴い発生する特別損失の額につきましては、現在第 1 四半期の決算集計中である事から未確定であり、後日確定次第、速やかにお知らせしてまいります。

以 上